

海外進学を目指す 高校生へ

おおさかグローバル塾
2024年度修了生
竹原 紗那さん
Griffith university (オーストラリア)

オーストラリアの大学に通い始めてから、早くも一年が経ちました。渡航前は長期留学の経験がなく、留学の楽しい面ばかりを想像していました。しかし実際には、頼れる人がいない中で、言語や文化、生活環境の異なる場所で新しい生活を始めることは、これまでの短期留学とは全く異なるものでした。住居の不安定さに加え、仕事や大学の課題、英語での生活など、多くのストレスや苦労を経験しました。

また、友人ができてからも、会話についていけなかったり、自分の考えをうまく伝えられなかったりすることがありました。しかし、そうした経験を重ねる中で、自分の英語力と改めて向き合うきっかけを得ることができました。



私は、この進路を選択することについて周囲から反対されることも多く、高校時代のクラスメイトにも自分の進路を隠していました。決して楽な道ではなく、思うように結果が出ず、悔しさや苦しさから涙を流したこともあります。それでも、もし、もう一度過去に戻ったとしても、私はきっと同じ進路を選ぶと思います。

海外の大学に進学してから、日本ではなかなかできない経験をたくさんすることができました。大学では、実際にワインを試飲したり、学生自身でカフェを運営したりするなど、参加型の授業も多くあります。また、さまざまな国籍や文化を持つ人たちと、自分の国について話したり、意見を交換したりしながら過ごせることも、海外だからこそ得られる貴重な経験だと感じています。英語で仕事について学び、実際に接客をしながら働く経験も、自分にとって大きな学びになりました。

もちろん、周囲の人と自分を比べて落ち込むこともあります。しかし、時間が経ち、少しずつ環境に慣れていくことで、さまざまな問題は徐々に乗り越えられるのだと実感しました。英語についても、完璧に話すことより、自分の伝えたいことを相手に伝えようとする姿勢が大切なのだと学びました。

そして、必ずしも周囲の人と同じ道を選ぶ必要はないのだと思うようになりました。誰かに反対されたとしても、自分が本当にやりたいと思うことであれば、自分の意思を大切にして、その道を進んでいってほしいと思います。

海外進学は、決して簡単な道ではありません。しかし、新しい環境でさまざまな価値観に触れることで、きっと自分の視野を広げることができます。たくさん悩むこともあると思いますが、自分を信じて、勇気を持って第一歩を踏み出してみてください。このメッセージが、海外進学を目指す皆さんの背中を少しでも押すことができれば幸いです。

